

シラバス

指定番号 6

名称 : 優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。この指導を通じて、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。			
項目番号・項目	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・講習の実施方法・通信学習課題の概要等
①多様なサービスと理解	2	2	0	<講義の内容> ・多様なサービスと介護職の仕事 ・キャリアパス資格習得要件 ・事業所等におけるOJT・Off・JT 上記の項目について、講師が講義する
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	<講義の内容> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的な様子 上記の事項について、講師が講義するほか特別養護老人ホームにおける見学実習を行う。 <見学実習内容> ・施設における利用者の日常生活、介護実践について説明を受ける。 ・施設の機能について理解を深める。 ・利用者とのコミュニケーションを通して利用者理解をふかめる。 ・介護職員の介護サービス提供現場を見学することで、介護職員の業務について理解を深める
合計時間	6	6	0	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第1巻 人間と社会・介護1 第一章「職務の理解」 介護職員初任者研修 補助教材DVD			

シラバス

指定番号 : 6

名称 : 優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護、福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点、及びやってはいけない行動の例をりかいしている。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	5	1	4	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICF ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止 ・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要 <p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊厳の保持 <p>上記の事項について、人権とは何か・人権擁護の点も踏まえ人権擁護への取り組みの事例を組み込みながら講師が講義する。</p>
②自立に向けた介護	4	0.5	3.5	<p><通信課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援 ・自立支援のための介護方法 ・介護予防 <p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援 <p>上記の事項について、講師が講義する。</p>
(合計時間数)	9	1.5	7.5	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第Ⅰ巻 人間と社会・介護Ⅰ 「介護における尊厳の保持・自立支援」			

シラバス

指定番号：6

名称：優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理のいつ養成に気づき、職務におけるリスクとその対策のうち、重要ものを理解する。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、 専門性と他職種との 連携	2	1	1	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての介護の視点、 ・チームケアの重要性 <p>利用者主体の支援姿勢、自立した生活を支えるための援助、 根拠のある介護</p> <p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴 ・介護の専門性 <p>重度化防止、遅延化の視点、事業所内・他職種からなる チームケア 上記の事項について、講師が講義する。</p>
②介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の倫理 <p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守 ・介護の倫理 <p>介護福祉士の倫理と介護福祉士制度」等 ・日本介護福祉士会の倫理綱領 上記の事項について、講師が講義する。</p>
③介護における安全の 確保と リスクマネジメント	2	1.5	0.5	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント ・感染症対策 <p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護現場における安全の確保 ・事故防止、安全対策 ・緊急時に必要な知識・対応方法 ・リスクマネジメントについて <p>上記の事項について、講師が講義する。</p>
④介護職の安全	1	1	0	<p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の健康管理 ・介護職に起こりやすい健康障害 ・感染の予防 ・ストレスマネジメント <p>上記の事項について、講師が講義する。 演習として、腰痛予防体操を講師の指導のもと 受講生に実際に行ってもらい理解を深める</p>
(合計時間数)	6	4	2	

使用する機器・備品等 一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第1巻
人間と社会・介護 I
「介護の基本」

シラバス

指定番号：6

名称：優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	3	1	2	<通信学習課題の内容> ・介護保険制度創設の背景と目的・動向 ・介護保険制度の仕組みと基礎的理解 ・制度を支える組織団体の機能と役割・財源 <講義の内容> ・介護保険制度の財源・組織・団体の機能と役割 上記の事項について、講師が講義する。
②医療との連携と リハビリテーション	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・リハビリテーション医療の意義と役割 ・他職種との連携 <講義の内容> ・医療と介護の連携 ・リハビリテーション職種との連携 上記の事項について、講師が講義する。
③障害者総合支援制度 およびその他制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・制度創設の理念・背景・目的 ・個人の権利を守る制度の概要 <講義の内容> ・制度創設の理念・背景・目的 ・制度の仕組みと基礎的理解 上記の事項について、講師が講義する。
(合計時間数)	9	2	7	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第1巻 人間と社会・介護Ⅰ 第四章 「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」 体温計・血圧計など			

シラバス

指定番号 6

名称 : 優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを把握してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることをにんしきする。この認識を踏まえ、初任者としての最低限のとるべき行動例を理解している。			
項目番号・項目	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
①介護における コミュニケーション	4	2	2	<通信学習課題の内容> ・コミュニケーションの役割 ・コミュニケーションの基本 ・バイステックの7原則 ・家族介護者の心理ステップ ・言語障害者・視覚障害者 ・聴覚障害者とのコミュニケーションの留意点 <講義の内容> ・コミュニケーションの基本 (共感、受容、傾聴的態度、気づき等) ・利用者・家族の心理と介護職として持つべき視点 上記の事項について、講師が講義をするほか、演習として受講者間のロールプレイングを行い理解を深める。
②介護における チームのコミュニケーション	2	1	1	<通信学習の内容> ・介護における記録の意義・目的 ・記録をかくときの留意点 ・報告・連絡・相談 <講義の内容> ・介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録 ・記録の書き方 ・報告・連絡・相談の留意点 ・ケアカンファレンス、サービス担当者会議の重要性 上記の事項について講師が講義する。
(合計時間)	6	3	3	
使用する機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト 第2巻			

シラバス

指定番号：6

名称：優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うこととからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・老年期の発達と心身の変化の特徴 ・感覚、知覚の変化 ・記憶の変化 <講義の内容> ・老年期の発達と心身の変化の特徴 加齢と老化の概念 ・心身機能の変化と日常生活への影響 老化に伴う心身機能の変化、心理的变化、身体的変化 上記の事項について、講師が講義する。
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・おもな症状とチェックポイント ・高齢者に多い病気と生活上の留意点 ・メタボリックシンドローム、糖尿病、誤嚥性肺炎 ・感染による病気 ・特定疾病 <講義の内容> ・高齢者の健康 ・高齢者の疾病(老年症候群)と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 上記の事項について、講師が講義する。
(合計時間数)	6	3	3	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第2巻 人間と社会・介護2 「老化の理解」			

シラバス

指定番号：6

名称：優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性を認識し、利用者を介護する際の判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	1	0	<講義の内容> ・認知症ケアの理念 ・認知症ケアの基本視点(パーソン・センタードケア) 上記の事項について、講師が講義する。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・認知症の概念と原因疾患・病態 ・認知症の中核症状・認知症の定義と原因疾患の診断基準他 ・物忘れと認知症との違い ・認知症の初期症状 <講義の内容> ・認知症の概念と原因疾患・病態 ・認知症についての最近の動向 ・原因疾患別ケアのポイントと健康管理 上記の事項について、講師が講義する
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・認知症の人の生活障害・心理・行動の特徴 ・行動・心理症状(BPSD)に対する対応 <講義の内容> ・認知症の利用者への対応 上記の事項について、講師が講義する。
④ 家族への支援	1	1	0	<講義の内容> ・認知症家族の受容過程での援助 ・介護負担軽減(レスパイトケア) 上記の事項について、講師が講義する。
(合計時間数)	6	4	2	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第2巻 人間と社会・介護2 「認知症の理解」 補助教材 DVD			

シラバス

指定番号： 6

名称： 優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(8) 障害の理解			
指導目標	障害の概念とICF、生涯福祉の基本的考え方のほか、介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障害の基本的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・障害の受容段階 ・障害の概念とICF <講義内容> ・障害者福祉の基本理念 ・障害の概念とICF 上記の事項について、講師が講義する。
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴 かかわり支援等の基礎的知識	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> ・各障害とそれぞれの特徴 身体障害 知的障害 精神障害 <講義内容> ・身体障害（視覚障害 聴覚障害 咀嚼障害 肢体不自由 内部障害） ・知的障害 ・精神障害（統合失調症 高次機能障害 発達障害） ・その他の心身の機能障害 各障害の内容、特徴及び障害に応じた社会支援の考え方 基本的な介護の考え方について、講師が講義する。
③家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	<講義の内容> ・介護する家族のストレス ・障害の理解と受容支援 ・介護の負担軽減 上記の事項について、講師が講義する。
(合計時間数)	3	2	1	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第2巻 人間と社会・介護2 「障害の理解」			

シラバス

指定番号 6

名称 : 優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(9)こころとからだの仕組みと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
① 介護の基本的な考え方	2	1.5	0.5	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防を重視している背景について <p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づいた介護(基本的な介護技術の原則) ・法的根拠に基づく介護(介護保険制度下の介護サービス) ・重度化防止の視点 <p>上記の事項について、講師が講義を行う</p>
② 介護に関する心の仕組みの基礎的理解	4	2.5	1.5	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う変化とその心理 ・マズローの欲求の5段階と生きがいについて <p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う変化と心理(学習と記憶に関する基礎知識・感情と意欲に関する基礎知識) ・自己概念と生きがい ・生きがいづくりの支援 <p>上記の事項について、講師が講義を行う</p>
③ 介護に関するからだ仕組みの基礎的理解	5	4	1	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボディメカニクス ・神経系 ・バイタルチェック <p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称とはたらき・運動動作に関する基礎知識 ・ボディメカニクスの原則と身体の動きの基本動作 ・体位、姿勢の基礎知識 ・体位姿勢の持つ意味 ・中枢神経と体制神経に関する基礎知識 ・バイタルチェック(脈拍、心拍、血圧、体温、呼吸) ・緊急時の対応法(三角巾) ・安楽な姿勢の介助 ・寝具の持つ意味と寝具の整え方 <p>* こころとからだを一体的にとらえる</p> <p>上記の事項について、講師が講義及びデモンストレーションを行う またシーツ交換、ボディメカニクス、体位・姿勢変換、バイタルチェック、緊急対応等の介護技術の演習を行い習得する</p>
④ 生活と家事	4	3	1	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の基本原則 ・栄養素のはたらき <p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の必要性和目的 ・家事援助の基礎知識 ・利用者との信頼関係と秘密保持 ・利用者の価値観に合わせた生活と自立支援 <p>上記の事項について、講師が講義する また家事援助のグループワークを行う</p>

⑤ 快適な住環境 整備と介護	5	4	1	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具を選択するための基本的なポイント ・高齢や障害者の行動特性 <p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境に関する基礎知識 住宅の役割と機能・高齢者、障害者にとっての快適な住まい 住宅改修(家庭内に多い事故、バリアフリー) ・福祉用具の活用 福祉用具に関する基礎知識・福祉用具の活用活用 上記の事項について、講師が講義する。又様々な福祉用具に触れ体験することで快適な住環境整備に関連した基本的な介護技術を取得する
⑥ 整容に関連した こととからだの しくみと自立に向 けた介護	7.5	7	0.5	<p>〈通信隔週課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容行動の持つ意味 <p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識 ・整容の意味 整容行動の仕組み ・洗面、目、耳、鼻、爪の清潔の方法 ・衣類着脱の介助 ・衣類着脱の持つ意味 衣類着脱の介助 <p>上記の事項について、講師が講義及びデモンストレーションを行う またグループに分かれて整容に関連した基本的な介護技術と 衣類着脱の介護技術の演習を行い習得する 手洗いチェッカーを使用し講師の指導の下受講生に実際に行ってもらい理解を深める</p>
⑦ 移動、移乗に関 連したこととから だのしくみと自立 に向けた介護	9	7	2	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な体位(座位・臥位・立位) ・褥瘡の発生要因と予防対策 ・移乗・移動の機能とアセスメント <p>〈講義の内容〉</p> <p>体位・姿勢の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の予防 <p>移乗の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗に関する基礎知識 ・移乗、移動のための用具と使用方法 <p>車いすでの移動の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担の少ない移動、移乗と支援方法 <p>移動の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動と社会参加の留意点と支援 ・外出介護・肢体不自由者の歩行介助・視覚障害者の歩行介助 <p>上記の事項について、講師が講義及びデモンストレーションを行う。 またグループに分かれて様々な移動・移乗介助の介護技術の演習を行い習得する。</p>
⑧ 食事に関連した こととからだの しくみと自立に向 けた介護	7.5	7	0.5	<p>〈通信学習課題の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咀嚼やく・嚥下のメカニズム ・口腔ケアの定義 <p>〈講義の内容〉</p> <p>食事にに関する基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をする意味 ・食事のケアに対する介護者の意識 <p>食事の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事環境の整備 ・食事に関連した用具、食器の活用法 ・食事形態とからだのしくみ <p>口腔ケアの支援技術</p> <p>上記の事項について、講師が講義及びデモンストレーションを行う。 またグループに分かれて食事、口腔ケアに関連した基本的な介護技術の演習を行い習得する。</p>

<p>⑨ 入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護</p>	7.5	7	0.5	<p>〈通信学習課題の内容〉 ・入浴の持つ意味</p> <p>〈講義の内容〉 入浴と清潔保持に関連する基礎知識 ・入浴の持つ意味 ・清潔の持つ意味 ・清潔保持の意味 清潔保持のための用具の活用方法 入浴の支援技術 ・羞恥心や遠慮への配慮 ・体調確認・全身清拭・機械浴・個浴 整容の支援技術 ・足浴（手浴・洗髪）・ケリーパットの作成</p> <p>上記の事項について、講師が講義及びデモンストレーションを行う。グループに分かれて演習を行い整容の基本技術を習得する。</p>
<p>⑩ 排せつに関連したところからだのしくみと自立に向けた介護</p>	8	7	1	<p>〈通信学習課題の内容〉 ・排せつの持つ意味 ・排せつの仕組み</p> <p>〈講義の内容〉 排せつに関する基礎知識 ・排せつとは・心理面での意味 ・社会的な意味・羞恥心、プライバシーの保護 排せつ環境の整備と用具の活用方法 ・ポータブルトイレ、尿器、差し込み便器、オムツでの排せつ介助 ・爽快な排せつを阻害するところからだの要因を理解した支援方法 上記の事項について、講師が講義及びデモンストレーションを行うグループに別れ、排せつに関連し基本的な介護技術の習得後に、事例を用いて総合的な援助の演習を行う</p>
<p>⑪ 睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護</p>	4	3	1	<p>〈通信学習課題の内容〉 ・睡眠の意味 ・睡眠のしくみ</p> <p>〈講義の内容〉 睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の意味・睡眠のしくみ ・さまざまな睡眠を阻害するところからだの要因の理解 ・睡眠の状態と睡眠障害の原因把握 睡眠の介護 ・安眠への支援 ・寝具の持つ意味 ・寝具の整え方の介護 ・ベッド上での介助・留意点 上記の事項について、講師が講義を行う。 睡眠に関連した基本的な介護技術の習得後に 事例を用いて総合的な援助のグループワークを行う</p>
<p>⑫ 死にゆく人に関したところからだの仕組みと終末期介護</p>	4.5	3	1.5	<p>〈通信学習課題の内容〉 ・ターミナルケアとは ・ターミナルケアの実際</p> <p>〈講義の内容〉 老いと衰えの理解とその対応 ・ターミナルケア ・死に至るまでの一般的な経過 ・老いと衰えが進みつつある時期のケア ターミナルケアの実際 ・看取りに向けた体制づくり ・臨終が近づいたときの症状や兆候と関わり方 ・看取りの実際とグリーフケア 上記の事項について、講師が講義を行う。</p>

⑬ 介護過程の基本的理解	3	3	0	<p>〈講義の内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的、意義 ・介護過程の展開 ・介護におけるチームの役割と重要性 <p>上記の事項の講義と「ケアプラン作成」について、グループディスカッションを行う。</p> <p>事例に基づきアセスメントの演習を行う。</p>
⑬ 総合生活支援技術演習	4	4	0	<p>総合生活支援技術演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活場面での介護についてはある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術を習得する ・利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得する <p>*「事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題」の順に2時間程度で検討を進める。</p> <p>検討は、グループに分かれて行い、発表後にグループディスカッションを行う。</p> <p>* 事例は、精神疾患、うつ状態、片麻痺等の例を扱う。</p>
合計時間	75	63	12	

使用する機器備品等	<p>介護職員初任者研修テキスト 第3巻 ベッド、車いす、ポータブルトイレ、杖、リフト、等</p> <p>補助教材 DVD</p>
-----------	--

シラバス

指定番号： 6

名称： 優和福祉専門学校

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	3	3	0	<p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・介護サービス者の心構え ・根拠に基づく介護についての知識・技術の要点 <p>利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体、心理、社会面を総合的に理解するための知識の重要性 チームアプローチの重要性等 上記の事項について、講師が講義する。</p>
②就業への備えと研修 修了後における実例	1	1	0	<p><講義の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・研修修了後の継続的な研修課題について <p>具体的にイメージできるような実例(off-JT、OJT)を紹介 上記の事項について、講師が講義する</p> <p>利用者の状態像に応じた介護を総合的に理解し、見直すための実習をする。</p>
(合計時間数)	4	4	0	
使用する機器・備品等	一般財団法人 長寿社会開発センター発行 「介護職員初任者研修テキスト」第2巻 人間と社会・介護2 「振り返り」 補助教材 DVD			